40分ほど走ると突然目の前に町並みが近づき、大きな湖と洋風の建物が見えてきた。どうやら白樺湖らしい。そこを過ぎると急に見通しが広がった。

霧ヶ峰最高点の道路標示は標高1700mくらいだったか、雲は多いながらなかなかの絶景である。とりあえず情報収集も兼ねて霧の駅を目指した。ビジターセンターでトレッキング地図をもらい、野沢菜の「おやき」をほおばりながら作戦を立てる。ほんとうは明日、八島湿原からハイキングしながら車山に登る予定でいたが、天気が怪しい。今日は八島湿原だけを巡ることに計画変更。湿原まではまだ20分ほど走る必要がある。

八島湿原到着は16時。連休には車列が数珠つなぎのようだが、今日は夏休みシーズンながらも平日でこの時間の駐車場にはあまり車両はない。湿原の植物は手厚く保護されていて、湿原の周囲には木製の歩道が巡らされている。残念ながらニッコウキスゲのシーズンはもう終わったようだ。鳥の声を聞きつつ1時間ほど歩いているとポツポツと雨粒が。遠くには雷鳴も聞こえる。駐車場へ急ごう。

運がいいのか悪いのか、クルマに乗り込むと雨が地面を濡らし始めた。近くにいい温泉はないかと車内で地図を広げ作戦会議。美ヶ原までは40〜60分はかかりそうだし、温泉もない。非効率だが白樺湖の辺りに日帰り温泉がないか、来た道を引き返すことにした。白樺湖では偶然日帰り温泉「すずらんの湯」を発見できた。600円で21時まで営業しているという。

食堂でソバを食べさせてもらった後、温泉に入った。少しぬるめのお湯が疲れた体を癒すのにはちょうどいい。21時まで広間でテレビを見ながらゆっくりさせてもらった。トイレもあって好都合である。今夜はこの場を借りることにした。

●八島湿原の入場は無料。90分湿原を歩くことにする。湿原はハートの形をしていて「恋人の聖地」とのこと

8月1日

高原の朝は気持ちがいい。昨夜の雨もあって、マイナスイオンに満ちた朝の空気は新鮮だ。車中で簡単に食事を済まし、昨日登り損ねた車山へ。ビーナスラインを軽快に走ると間もなく見晴らしのいい車山肩の駐車場だ。昨日雲に隠れていた山々が今日ははっきり見える。八ヶ岳、そして蓼科山が大きい。頭上には青い空、眼下には雲海が広がる。何という絶景。何という幸運なのだろうか。準備を整えゆっくりと登山開始。歩きにくいガレた道が山頂まで続く。山慣れしていない嫁さんも息を吐き吐き、40分程度で登頂に成功。山頂の小さなほこらにもさい銭をあげて祈願しておいた。どうぞ6億円当たりますように…。

駐車場へ戻っていざ美ヶ原。20分ほどで昨日の八島湿原を通過する。でもそれから小一時間カーブの連続だ。右も左も森である。わがマッシュは急坂に弱い。1〜2度トルクがなくなり頑張って上る。よくもこんな山中に立派な道を造ったものだと感心する。

気持ちのいいドライブをしながら、**美ヶ原高原美術館（ルートガイド②）**に着いた。ここは標高2000mの道の駅で駐車場が広く、眺めもすばらしい。今日はこれから高原の最高峰牛伏山、美しの塔を経て王ヶ頭へ向かう。牧柵沿いに歩く。アルプスの山々と青い空を眺めながら気持ちのいいトレッキングコース。途中山本小屋でキノコ汁をいただいた。

13時、道の駅美ヶ原高原美術館に到着。天気はいまだ良好である。ところが夕方から急に黒い雲が立ち込め、18時くらいには強い雨とクルマを揺らすような風、そして雷が鳴り響いた。道の駅には車中泊らしい1ボックスカーが数多く残っている。そんな嵐のなか、わがマッシュの車中ではゆったりとコーヒータイムである。やっぱりキャンピングカーはいいな。

嵐も1時間ほどで通り過ぎ、やがてキラキラと星空が見え始めた。町の明かりが少ないところで見る夜空もまた感動もの。昨夜も今夜も松本や長野市あたりでは大雨だったらしい。われわれはほんとうに幸運だ。